

## 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0893100016		
法人名	有限会社 さくら園		
事業所名	グループホーム ほほえみ		
所在地	東茨城郡茨城町 奥ノ谷2160		
自己評価作成日	平成24年1月20日	評価結果市町村受理日	平成24年8月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://ibaraki-kouhou.as.wakwak.ne.jp/kouhou/infomationPublic.do?JCD=0893100016&amp;SCD=320">http://ibaraki-kouhou.as.wakwak.ne.jp/kouhou/infomationPublic.do?JCD=0893100016&amp;SCD=320</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人認知症ケア研究所
所在地	茨城県水戸市酒門町字千束4637-2
訪問調査日	平成24年3月26日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然に囲まれた安全な環境で、季節の移り変わりを身近に感じて頂きながら少人数だからこそ出来るケアを目指しております。ご利用者様お一人お一人の気持ちを大切に、家庭で暮らすのと代わりの無い生活を送って頂きたいと考えております。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

田畑が広がる、のどかな環境の中に事業所はある。利用者は笑顔が多く、柔らかな雰囲気でごさされ、お互いを気遣う様子が伺えた。管理者をはじめ職員は、利用者の日々の希望や活動をサポートしていきと深い関わりを心がけながらケアに従事している。また、自宅にいるような雰囲気を大切にしながらも、活気ある生活が送れるよう、散歩や地域のイベントへの参加なども積極的に行っている。利用者が地域の一員であることを意識しながら、地域の方との交流を深めているところである。今後も、利用者が一番考えたケアの提供を期待できる事業所である。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28)		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念をいつも目の届く場所に掲示し、管理者、職員は確認共有していけるようにしています	事業所の理念に基づいて、個人の意見や生活習慣を尊重し、助け合いながら生活が維持できるよう心がけている。また、地域に根差した事業所であるようにと意識付けもしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	23年11月近隣の方々をお招きして健康体操を行いました	ボランティアによる健康体操を行っており、今後は月に1回程度継続して行えるようにしたいと考えている。また、地域の方が毎年恒例の餅つきの物品の貸出しをしてくれたり、散歩のついでに立ち寄りたりと、地域に開かれた事業所である。町のお祭りや花火大会なども参加している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通して地域の代表の方と意見交換を行っております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度運営推進会議を行い、利用者の状況、行事等の報告をさせて頂き、お話し合いをしております	定期的に開催しており、活動報告もされている。今後は、家族参加を目指し取り組んでいく。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	毎月利用状況を送付している他、町の催しにも参加しております	地域包括支援センターとは、ボランティアの紹介を受けたり、制度上の疑問などを相談できる環境作りをしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての勉強会を行い、統一した考えの基対応しています	勉強会を行い、常に「何が身体拘束になるのか？」と問いながら日々のケアに従事するように心がけている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	2月に虐待防止関連法について勉強会を開きます。現在は個人の倫理観に基づいております		

茨城県 グループホームほほえみ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在該当されるご利用者様が無い為、すずんではおりません機会をみて勉強したいと思います		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約、改定等の際その都度施設長、管理者から説明をさせて頂き、ご理解ご納得を頂いております		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置、ご利用者様、ご家族様のご意見ご要望に対してその都度対応職員で検討させて頂いております。又今後定期的なアンケートを実施したいと思います。	外出時の要望や日々の生活に関する事など、意見をもらいながら改善している。苦情についての報告もあったが改善されており、今後は、家族アンケート(日常生活に反映できる内容)を行っていく予定である。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度GH全体会議を行い職員の意見や提案を検討しております	職員の体調や得意・不得意などを考慮したシフトを組めるようにしたり、職員から出た意見を管理者が取りまとめ施設長に伝えるなど、話し合いの場を設けている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	会議等で出た意見を基に、検討し必要に応じて又順を追って検討しております		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	GH会議の際に、職員同士で持ち回りの勉強会を行っております。法人外の研修は管理者等が必要な研修に参加しております。又個人の希望に基づいております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他施設の行事へお招きいただいたり、セミナー等への参加を磨る中で、繋がりを多くしたいと考えております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	御本人に直接お会いし、認知症の状態、入居に対する不安を表情や言動で感じ取りながら、気持ちを伺う事が出来る様にしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	これまでの生活やご家族しか知り得ない情報を、プライバシーの範囲内で伺っております。ご家族のご利用者様に対する想い、入居に対する不安を考慮し伝えきれない事の無い様、聞き役に徹しております		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	居宅支援事業所、病院のCWさんご家族様の間で施設入居の意向が固まった段階でお話を頂く事が多い為に、困難です		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様から、おかずの味付け、生活の工夫、土地の習わしなどを教えて頂き助け合える関係を作っております		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話お手紙等で相談させて頂き、入居者さまにとって最善の方法を模索しております。急なケガ、発熱の際の病院付き添い等ご協力頂いております		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行きつけの美容室、商店や病院にお連れしております	行きつけの美容院に行くことが困難になった方は、訪問もしてもらえる環境作りをしている。また、近隣の方も面会に来ており、関係継続ができるよう心がけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お菓子の包みを開けたり、洗濯物を畳んだりし、お互いの苦手な部分を補い合い、体調の悪い時はお部屋を見舞う等支え合っています		

茨城県 グループホームほほえみ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去になった方に年賀状を送らせて頂いたり、面会に伺い、新しい環境に慣れる邪魔のない程度に行っております。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	小さなつづやきを聞き洩らす事のない様努めています。希望に添えるよう心がけております	利用者同士の会話も聞き洩らさないように注意を払いながら、個々の要望に答えられるよう取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に「馴染みの暮らし」シートを用い、細かく伺いこれまでの暮らしを大切にさせて頂いております		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の生活での気づきを業務日誌や申し送りに書き込み、細かく把握できる体制を取っています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	期限の切れる前の月にカンファレンスを開き、ご家族様屋ご本人の意見を参考にしながら、作成しております	ケアプランに関連した項目で日々の記録を行い、評価も行っている。見直し時期にはカンファレンスを行い、次のプランに繋げている。	今後は、ケアチェック表を活用する事で、より細やかなケアプラン作成に繋がっていくことを期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りノートや業務日誌に記入し、日中ケアの実施チェック表に記しています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	決められた事に拘らず、その時ご本人に合ったサービスを心がけております		

茨城県 グループホームほほえみ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	茨城町の広報誌や、近隣の病院で頂く冊子を用い、ご覧いております		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	昔から通院されている病院にお連れし、馴染みの先生に安心して診て頂いております	緊急対応以外は、昔からの馴染みの関係が出来る医療機関への受診が行われている。家族への報告は、その都度一緒に受診をしていたり、電話などで報告をしている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職はおりませんが、往診、受診時に日頃のバイタル、水分、排便尿量を細かにお伝えしています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中のご様子を把握できる様面会時に看護師等に詳しく確認しております。退院時にはサマリーで把握しきれない事もある為、ご家族様と共に医師の説明を聞かせて頂いております		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	病状を把握し、状態悪化した場合は医師の支持やご家族と相談の上、入院になります	かかりつけ医の指示や指導のもとでの看取りの事例はあるが、ご家族やご本人の希望、医療機関との連携を含めて、事業所の方針を決めている。	今後は、事業所の方針として、何が出来て何が出来ないか、同意書やマニュアル等書式の整備などを行い、事業所全体でのサポート体制を整えていくことに期待したい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	行えていません。今後の課題として取り入れていきたいと思っております。現在はかかりつけ医院や救急病院の支持によりおこなっております		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難経路、避難場所を決めており、いざという時に助け合いが出来る様、地域運営推進会議等で話し合っています。また、消防訓練をおこなっています	備蓄の準備や月に一度の消防訓練、年に1度の消防署立ち合いの訓練など、防災意識が高い。さらに、近隣の方への理解を深めようと、運営推進会議で議題として取り上げ協力の働きかけを行っている。震災時には、独居の地域の方を受け入れた事例があった。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	カンファレンス会議にて一人一人に合った支援について話し合っています。又、着替えの際には扉を閉める等プライバシーの保護にも努めております	スタッフの言葉かけは温かみがあり、個人を尊重したものであった。個人ファイルは、不必要に他者の目に触れないよう管理されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様がご自分の思いを職員に伝える事が出来る様入浴の時間に話を伺うなど話しやすい時間や場所を考慮しております		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩や買い物等、希望を可能な限り意思に沿って支援しております。又入浴時は利用者様の入浴ペースに合わせて行っております		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	病院受診や行事の際は特に「どれが良いでしょう」と伺い普段とは気分が変わるよう支援しております		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を作る際の味つけの好み、材料、工夫を伺い、皮をむいたり味見をして頂きながら、準備や後片付けのお手伝いもして頂いております	季節や行事ごとの食事の提供や、外食、リクエストメニューの日などを設けている。職員は言葉かけや見守りをしながら利用者と一緒に食事を楽しんでいた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎月バランスのとれた週の食材を取り入れ、常食や刻み等個人に合った食事を提供し、量の調整等行っています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後お一人お一人の習慣やペースを掴み、声かけの工夫をしながら、出来ないところの支援を心がけております		

茨城県 グループホームほほえみ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握し、声かけの支援を行っております。又、出来る事と出来ない事の見極めをし、その方に合った支援に努めております	排泄チェック表や言葉かけを行いながら、個々の排泄パターンを把握し、それぞれに合った排泄方法を検討し、なるべくトイレでの排泄を促している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分の摂取を促したり、レクリエーションや散歩で身体を動かす支援を行っています。又水分量、排便はいによ、食事を記入し把握しております		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一人一人に入浴の希望を確認し、利用者様に合わせて支援しております。又、入浴剤を使用するなど、入浴を楽しんで頂いております。	入浴が出来ない利用者に対しては、部分浴や下着の交換、清拭などで対応しながら、入浴が気持ちよく行えるようになるまで余裕を持って対応している。季節の入浴剤などを利用し、入浴が楽しみになるよう工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の希望に合わせた時間に臥床介助を行い、ベットや畳などその方の生活に合った寝具の工夫を行っております		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	御利用者の薬を把握し、内服された後の変化を観察、カンファレンス等で話し合い、受診時に医師に相談しております		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物を畳む方、食器を吹く方、食事前の挨拶をする方、体操の掛け声を掛ける方、得意な役割を持っていらっしゃいます。梅干しや、新鮮な生卵等お好みの物を購入して頂いております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望に沿って散歩や買い物の支援をおこなっています。又希望によってはご家族様に相談、ご協力頂いております	天気の良い日には近隣の散歩を行っている。花の季節や地域の行事に合わせて外出を企画し行っており、利用者からも「楽しかった」と言う話が聞かれた。	



茨城県 グループホームほほえみ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者の状態に応じ、金銭の管理、買い物等実施しております		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様のご要望に応じその都度確認をしながら対応しております		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節、時期に応じた飾り付けをしたり、利用者様と一緒に作成した作品を掲示し、気持ちよく過ごして頂く工夫をしております	リビングには和室があり、コタツで利用者がくつろぎ、一緒に過ごす空間が確保されている。季節の花や装飾があり、利用者はにこやかに過ごされていた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用フロアでは、仲の良い方々でテーブルを囲めるよう座席配置をし、一人になりたい時には事由に居室に戻る事の出来る様な環境になっています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはご利用者様の使いなれた物を持ち込んで頂き、ご自宅と同じように過ごして頂ける様考えております	個々の生活環境に合わせて畳をひいたり、ベッドを使用したりと工夫されている。ご家族からの協力があり、自宅で使われていた馴染みのものが持ち込まれたなかで過ごす事が出来ている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室内は十分な広さを取り、扉は安全な引き戸で廊下はバリアフリーに手すりを設置し居室からフロアまでの距離を出来るだけ短く、分かりやすく安全に移動できるようにしております		

## 目標達成計画

作成日: 平成 24 年 8月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	○チームで作る介護計画とモニタリング本人がより良く暮らす為の課題とケアの在り方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ケアチェック表を活用し、丁寧な介護計画を立てていきたいと思えます。	職員にチェック表の存在を周知し、勉強会で実際に行い、それぞれの細かな気付きが反映される様にしたい。ケアプラン作成時に欠かさずチェック表を記入して行きたい。	1ヶ月
2	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、十松木の有り方について、早い段階から本人、家族等と話し合いを行い、事業所で出来る事を十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	御本人やご家族の望みと、施設としてどこまでを支援させて頂けるのか、またその方法を明確にしたい。	施設で出来る事、出来ない事を決め、例外的有る場合はその旨を文書にし、ご家族様に送付する。改めて個々のご意見を伺い、方針を話し合いたい。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。